



# 想い出の

子どもたちの  
思いも乗せての

# ランドセルギフト



使い終わったランドセルが海の向こうで  
子どもたちの未来を支えています。

日本からのランドセルが  
学校に行くきっかけに

国際協力NGOジョイセフが取り組む「想い出のランドセルギフト」は、日本のランドセルをアフガニスタンの青空教室などで学ぶ子どもたちにプレゼントする取り組みです。

同国は23年続いた紛争が2001年に終結したものの、今も争いが絶えず、日々テロなどの脅威にさらされ、政情

が不安定です。人々は貧しく、子どもたちに学用品を買う余裕も十分にありません。

また、女の子は学校に行かなくてよいと考える親も多く、アフガニスタンで小学校に通っている女の子は2人に1人。この取り組みでは、男の子にも女の子にも平等にランドセルを配付することで、女の子が学校へ行くためのきっかけ作りをしています。

活動を続けて15年。受け取った子ども

## 国際協力NGO ジョイセフとは

ジョイセフは、世界の女性の命と健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOです。1968年創立。国連、国際機関、現地のNGOや地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援を行っています。2018年4月、創立50周年を迎えました。

## ランドセルの寄贈方法

【募集期間】

春／2019年3月10日～5月31日  
秋／2019年9月1日～10月31日

- 1 ランドセル1個につき1800円の海外輸送費募金を振込む  
(銀行・郵便振替・クレジットカード・コンビニ)
- 2 ランドセルを指定倉庫に送付  
(送料は寄贈者負担)
- 3 新品のノートや鉛筆、ボールペン、消しゴムなども集めている

詳細はジョイセフホームページ  
([joicfp.or.jp/rand](http://joicfp.or.jp/rand))で。

もたちの中には医学生になっている女の子もいます。  
「小学3年の時にランドセルを受け取りました。とてもうれしくて、夜寝る時もランドセルを抱いて寝ていました。今でも大事に持っています。一生懸命勉強して、医学部に入りました。日本の皆さんに本当に感謝しています。将来お医者さんになって、アフガニスタンのために働きたいです」(リマさん)



## ホワイトリボンラン 2019

走ろう。自分のために。誰かのために。

世界では1日830人の女性が妊娠・出産・中絶で命を落としています。そんな現実を変えるためにスタートした「WHITE RIBBON RUN」は、世界中にこの運動への参加を促すチャリティラン大会です。大会公式Tシャツを着て走ればどこでも誰でも参加可能。オンラインによる写真や動画の投稿で、バーチャルでも世界中のランナーがホワイトリボンの名の下につながります。エントリー費の半額はジョイセフを通じて途上国の女性支援に寄付されます。詳細・お申込みは➡[wrun.jp](http://wrun.jp) / エントリー締切：2019年1月20日(土)

